

今年も中東地区まちづくり協議会として、10月21日(土)に、ドリームシップ祭りで物品の販売(お弁当、和菓子など)を行いました。

梅寿軒・松琴堂の和菓子、野村製菓の赤飯・山菜おこわ、RUCCAのフランクフルト・バリバリカレー、おにぎり弁当、幸福堂の駄菓子を販売しましたが、駄菓子以外は午後二時に完売となるほどの盛況でした。

尚、ブースに立ち寄ってくれたお子さんには駄菓子・風船を無料でお配りしました。又、ま

ち協ニュース・デジタルマップ・中東地区まちづくり協議会のTシャツ(販売も)を展示して、当協議会が展開している「住み続けられるまちづくり」をピーアールしました。

一般の来場者には、まち協ニュース・みすゞのチラシ・デジタルマップ・缶バッジ(無料)をお配りしました。今年も盛況に開催でき参加者一同、大感激でした。

平田 雅己



寄稿 海響マラソン体験記

第5給水所 給水係

貴船町 内山 和章

令和5年11月5日、下関市民にとって、待望の『海響マラソン2023』を迎えました。

午前6時の気温は20度、青空が広がり、不快指数は6.9で、心地よいマラソン日和となりました。

“8時30分”号砲一発! さっそくコース管理スタッフから『先頭は三百目通過!』との一報が。(写真1)

私は、竹崎の合同庁舎前の第5給水所が受け持ちです。70人のボランティアスタッフは、マラソンランナーの通過に備え、机を並べたり、給水用ボトルと飴等を手際よく配置し、全国から集まったランナーへのおもてなし準備にとりかかっていたところ、『先頭はみもすそ川通過!』という知らせを受け、スタッフ仲間にその情報を通知し、おもてなしに備えるのです。(写真2)

刻々と知らせてくる情報は、マラソンボランティアに加わっている中東地区まちづくり協議会の仲間たちからです。

スマホ片手に、給水準備で忙しいスタッフに、先頭集団情報を告げます。

“9時7分”『折り返しの先頭ランナーがみもすそ川を通過!』との情報。ほゞ予想どおりであるが「さ

すが速いなあ!』と思いながら、「15分後には先頭がやって来る!」と、給水スタッフに呼びかけます。(写真3)

やがて、『壇之浦通過! 海峡交番前通過!』と、先頭の通過情報が一気に迫ってくるので、給水所のスタッフもいよいよ“臨戦モード”。

“9時20分”先頭ランナーが給水所を走り去ったのち、しばらく間をおいて続々とランナーたちが迫り、あたかも給水所を襲ってくるかのようです。(写真4)

“10時35分”ごろ、最後となる6時間ペースランナーが後続のランナーを励ましながらかつ通過しました。やがて、サポートバスがやってきて、続きでゴミ収集車が給水所前に止まったところで、給水活動は終了となりました。(写真5)

まち協スタッフによるタイムリーなSNS情報による見事な連携プレーで、マラソンにチャレンジした人たちに対して、沿道での給水ボランティアとコース管理に貢献できたのでは。

中東まち協サポートスタッフの見事なチームプレー! 下関海響マラソンありがとう!!



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)



(写真5)

